

齊藤たかおさんが名古屋市議会で大活躍



齊藤たかお クリーン宣言
 私、齊藤たかおは、今般、社会的に問題が指摘されている宗教団体との関係は一切ございません。また、今後も関係を持つことがないよう、十分に注意して活動してまいります。

発行所
 自由民主党本部
 郵便番号 100-8910
 東京都千代田区永田町 1-11-23
 電話東京 03(3581)6211(代表)
 自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

敬老パスの利用範囲が名鉄バスにも拡大決定

敬老パスの名鉄バスの利用拡大を質問し、名鉄、近鉄、JR 東海の鉄道に加え、名鉄バス、三重交通バスへの利用が令和4年2月から出来るようになりました。

名鉄バス24系統 三交3路線対象 敬老パス 利便性向上

名古屋市議会十一月定例会は二十日、本会議を再開し、八議員が個人質問に立った。六十五歳以上の市民が使える「敬老パス」について、名鉄バスと三重交通バスでも二〇二二年一月から新たに使えるようになることが、市側から示された。すでにJR、名鉄、近鉄の各鉄道も同時に使えることが決まっており、市民の利便性は上がりそうだ。齋藤高央議員(自民)の質問に対して明らかにした。

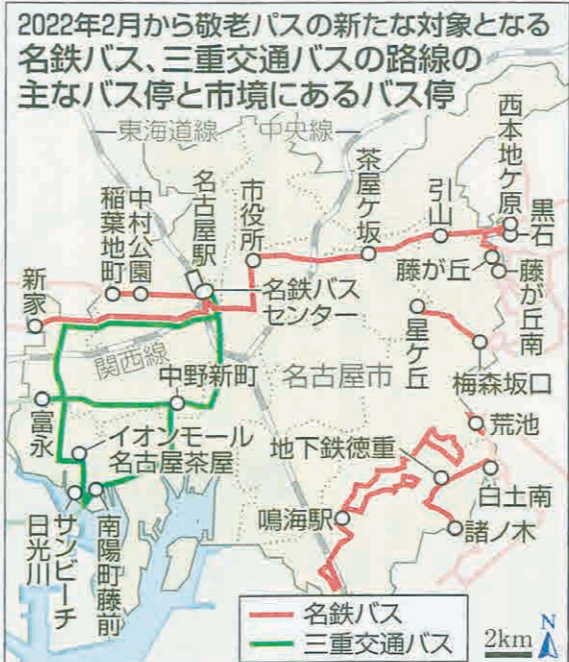
(水越直哉、池内琢)



新たに対象に加わるのは名鉄と三重交通の市内の全路線。名鉄の系統の中には市バスとルートが一部重なるところもあるが、これまでは市バスしか敬老パスが使えないため、先に着いた名鉄バスをわざわざやり過ぎして市バスに乗る高齢者もいたという。

「こうした経緯を踏まえて齋藤議員は個人質問で「高齢者の気持ちを想像すると、一日も早く対象拡大を」と述べ、対象拡大の必要性を主張した。

これに対して市健康福祉局の山田俊彦局長は、すでに検討を進めてきたことを



明らかにした上で「対象拡大を行った場合の事業費への影響は、想定範囲に収まる見込み」と答弁。JRや名鉄、近鉄への拡大と同時期となる二二年二月に実施する方針を示した。

対象となるのは、名鉄バスが名鉄バスセンターを

敬老パス 名鉄バスもOK

名古屋市で22年2月三交バスも間に合えば敬老パスもOK

名古屋市議会十一月定例会は二十日、本会議を再開し、八議員が個人質問に立った。六十五歳以上の市民が使える「敬老パス」について、名鉄バスと三重交通バスでも二〇二二年一月から新たに使えるようになることが、市側から示された。すでにJR、名鉄、近鉄の各鉄道も同時に使えることが決まっており、市民の利便性は上がりそうだ。齋藤高央議員(自民)の質問に対して明らかにした。



▲東海テレビ FNN Live News days ▲CBC JNNニュース ▲メーテレ アップ! ▲中京テレビ ストライク!

「名古屋駅スーパー救急隊」の進捗状況

119番 直ちに出勤!



来年度にも名駅構内に救急隊

名古屋駅構内に「スーパー救急隊」が配備される。救急隊員は英語が堪能で、外国人客増に対応できる。また、救急隊員は英語が堪能で、外国人客増に対応できる。また、救急隊員は英語が堪能で、外国人客増に対応できる。

名駅構内に救急隊

二〇二二年の市議会に「名古屋駅構内に救急隊を配備する」という議案が提出された。救急隊員は英語が堪能で、外国人客増に対応できる。また、救急隊員は英語が堪能で、外国人客増に対応できる。

駅の利用者増加へ対応

名古屋駅周辺の利用者が増加している。救急隊を駅構内に配備することで、緊急時の対応が迅速になる。また、救急隊員は英語が堪能で、外国人客増に対応できる。



救急隊を名古屋駅の構内に配置すべきと質問し、平成30年6月から「MEDIC ONE NAGOYA」を名古屋駅構内に配置し、現在はコロナ禍の資機材も装備的に対応しております。

春香クリスティーンと



▲中京テレビ 政治の現場 ▲キャッチ 政治の現場

新路面公共交通「SRT」

市議会定例会は十四日、本会議を再開し、九議員が個人質問した。市はリニア中央新幹線開業までに、バス型の乗り物を使った新たな路面公共交通システム(SRT)を実用化する方針を示した。名駅・栄地区間のルートで先行的に導入し、名古屋城や大須エリアを結ぶことも検討する。観光客などの移動の利便性を高め、街の活性化につなげる。齋藤高央議員(自民)の質問に答えた。

(鈴木龍司)



フリーなどに配慮した「未だ来型のバス」を専用車線などで走らせる構想で、二〇二〇年以降、二つのバス車両を活用して社会実験に取り組んできた。

齋藤議員は「街のシンボルになる」と強調し、二つのバス車両を活用して社会実験に取り組んできた。

市議会個人質問

フリーなどに配慮した「未だ来型のバス」を専用車線などで走らせる構想で、二〇二〇年以降、二つのバス車両を活用して社会実験に取り組んできた。



新たな路面公共交通機関「SRT」について、早期に整備を進めるべきと質問し、まずは東西ルートを軸に実装化を加速し、さらにリニア中央新幹線開業時には、都心部の各拠点へ快適に移動できるよう進めるとの答弁がありました。

